

2025年 3 月期決算補足資料

株式会社 き も と

2025年 4 月28日



1 2025年3月期 決算について

2 フィルム事業

3 デジタルツイン事業

4 KIMOTOの事業について



2025年 3 月期実績 前年比

■ 利益率の高い高付加価値製品（遮光、粘着製品等）が堅調に推移したことに加え、継続的な品質の追求や生産業務効率化及び低収益品の統合による製造原価低減に努め、収益を維持しました。

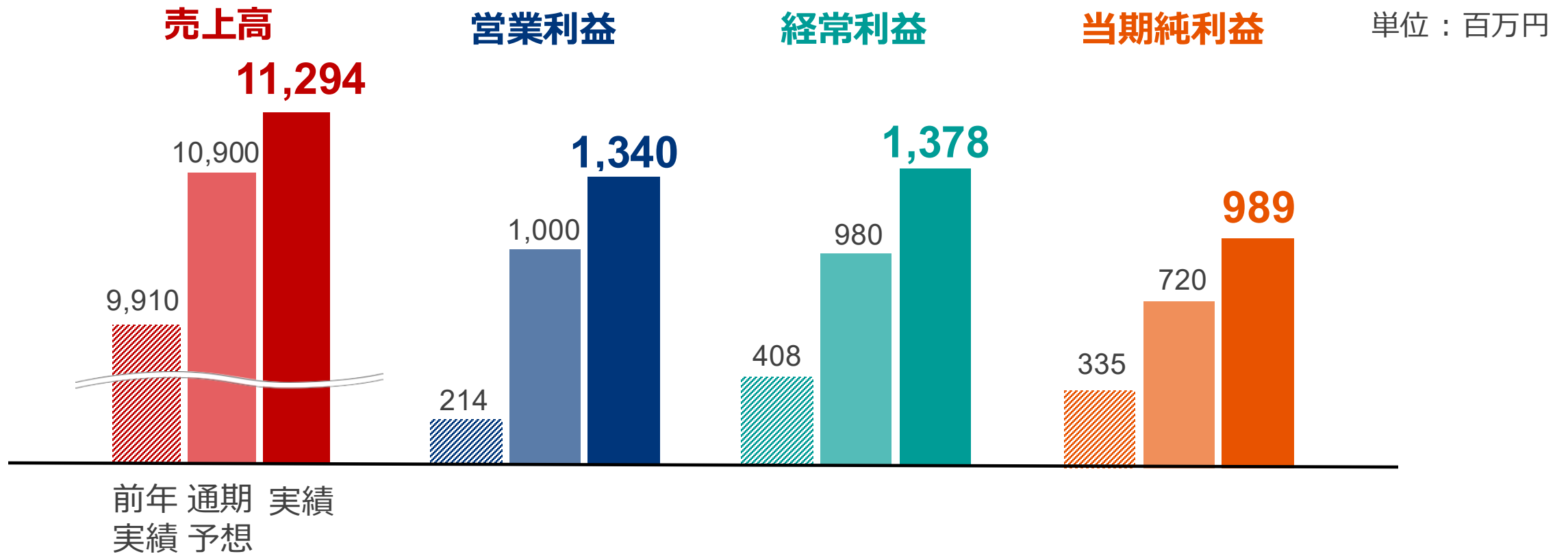
単位：百万円

	2024年3月期 通期	2025年3月期 通期 予想	2025年3月期 通期	増減	増減率(%)
売 上 高	9,910	10,900	11,294	1,384	14.0
売上総利益	3,164	-	4,401	1,236	39.1
販売管理費	2,949	-	3,061	111	3.8
営 業 利 益	214	1,000	1,340	1,125	524.0
経 常 利 益	408	980	1,378	969	237.0
税引前利益	381	-	1,404	1,023	268.3
当期純利益	335	720	989	654	195.5

2025年 3 月期決算について

損益計算書 前年・予想比 [連結]

■ 対予想比 売上高104% 営業利益134% 経常利益141% 当期純利益137% となりました。



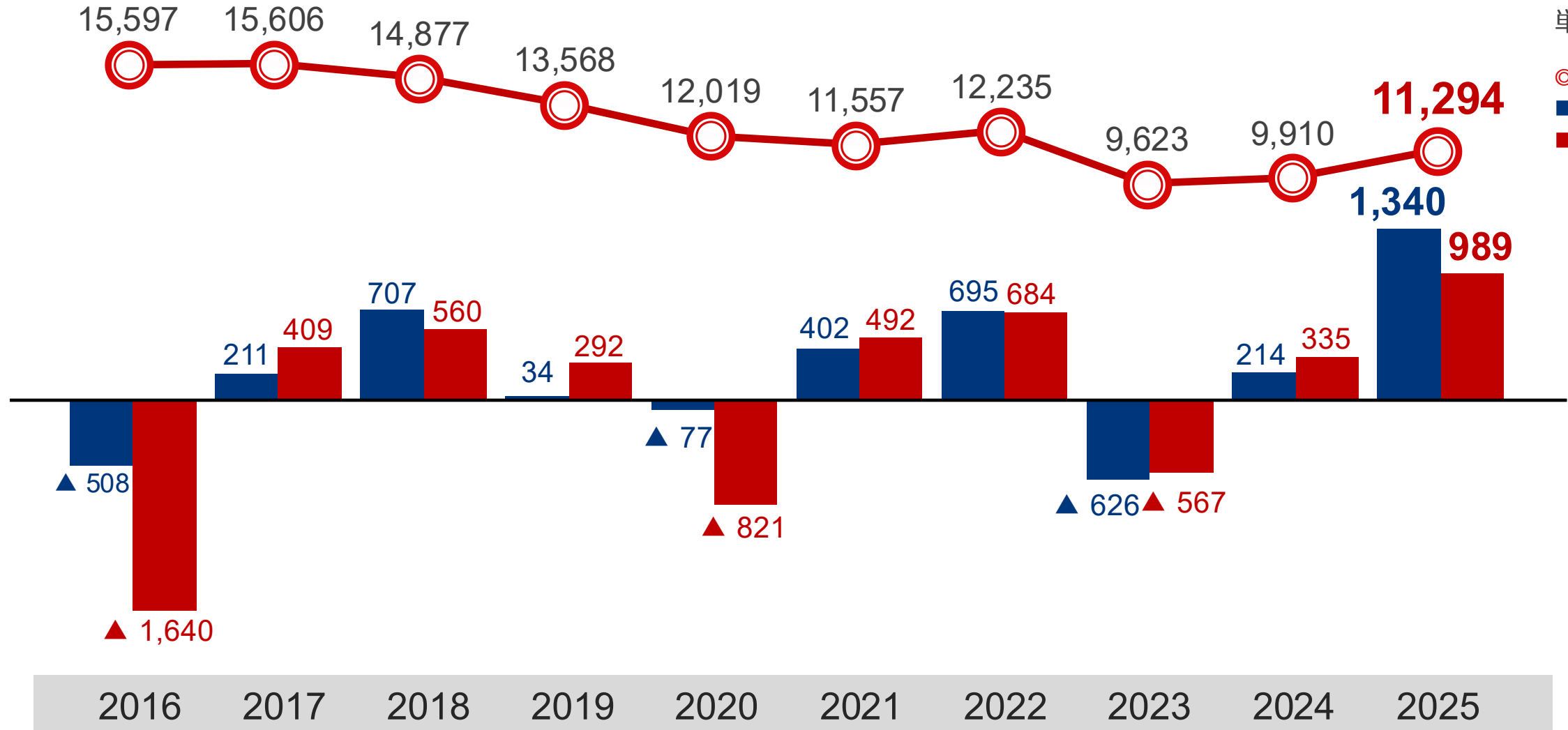
2025年3月期決算について

売上高・営業利益・純利益 [連結]

2016年3月期～2025年3月期 比較

単位：百万円

○ 売上高
■ 営業利益
■ 当期純利益



KIMOTOグループ業績

単位：百万円

		日本 	アメリカ 	スイス 	中国 
売上高	2025年 3 月期	10,491 14% UP	862 40% UP	733 21% UP	160 24% DOWN
	2024年 3 月期	9,225	616	603	210
営業利益	2025年 3 月期	1,446	△ 139	52	△ 27
	2024年 3 月期	439	△ 273	35	6

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

KIMOTOグループトピックス

日本



輸送・通信機器向け製品やバッテリー・半導体関連製品が堅調に推移し売上に貢献しました。利益面では高付加価値製品の販売強化、品質向上や効率化、低収益品の統合により収益を維持しました。

アメリカ



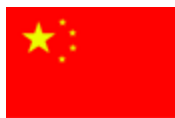
輸送機器向け製品が好調に推移したことに加え、ディスプレイ保護向けのハードコート製品も売上に寄与しました。収支改善はしたものの利益の計上にはいたりませんでした。

スイス



欧州での経済活動の停滞が続く中においても、輸送機器向けの拡散製品が計画通りに推移しました。また、家電および照明向け製品も堅調に推移し、売上に貢献しました。

中国



LiDAR関連の大型案件が少なく売上、利益ともに低調となりました。しかしながら製造業DX向けデータ作成案件およびプログラム開発案件を受注。今後もより一層の技術力向上に努め、新規案件の獲得を目指します。

【日本】 売上構成

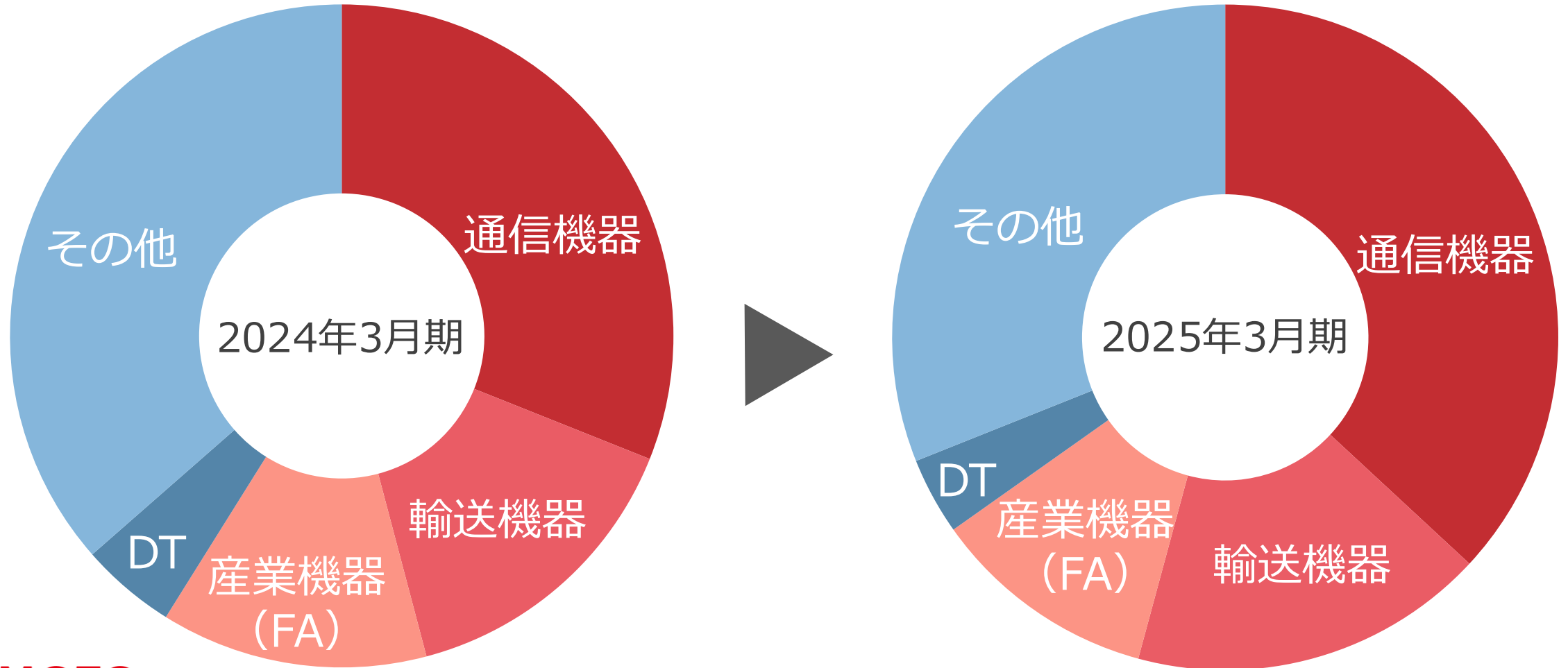
単位：百万円

	2024年3月期	構成比	2025年3月期	構成比	増減	増減率(%)
フィルム事業	8,796	95.3%	10,098	96.3%	1,302	14.8%
通信機器	2,864	31.1%	3,871	36.9%	1,006	35.1%
輸送機器	1,368	14.8%	1,815	17.3%	447	32.7%
産業機器	1,200	13.0%	1,153	11.0%	△46	△3.9%
その他	3,363	36.5%	3,258	31.1%	△104	△3.1%
デジタルツイン事業	429	4.7%	392	3.7%	△36	△8.5%
3D	235	2.6%	175	1.7%	△60	△25.6%
2D	123	1.3%	86	0.8%	△37	△29.9%
その他	69	0.8%	130	1.2%	61	87.5%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【日本】売上構成

■ 通信機器向け・輸送機器向け製品が伸びたことで売上のシェアを大きく占めています。



【アメリカ】 売上構成

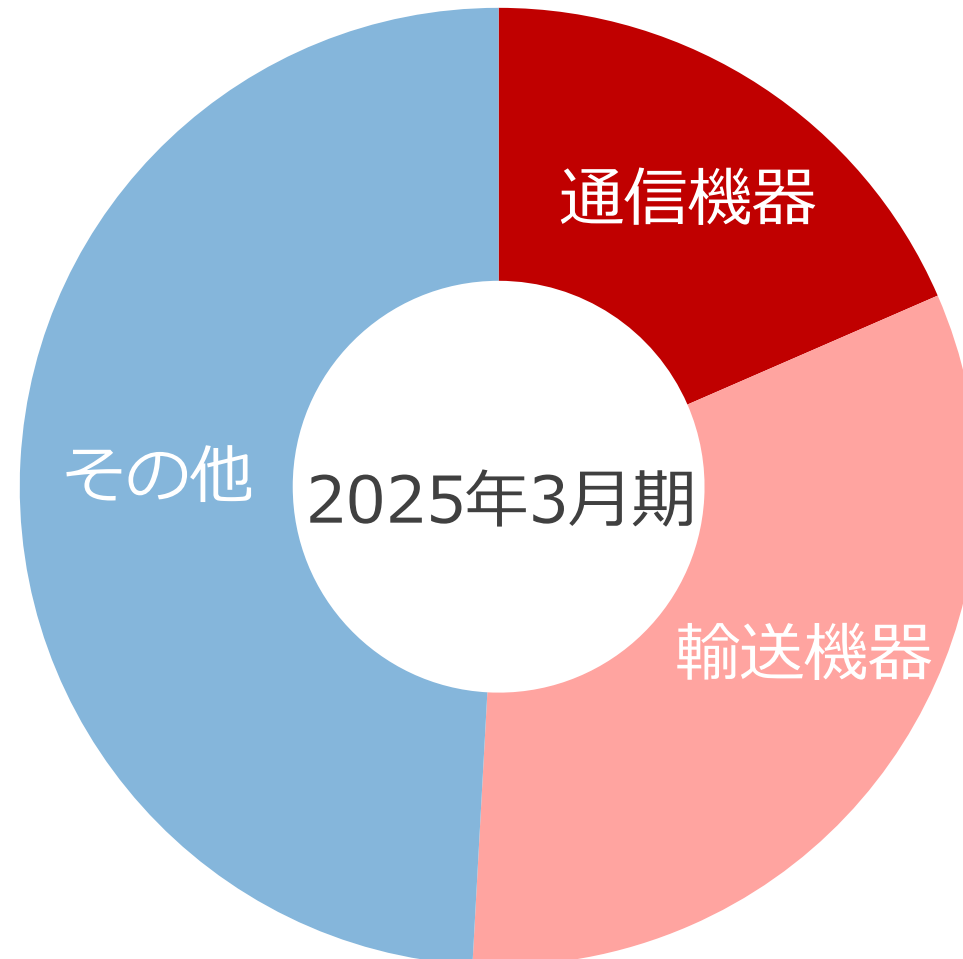
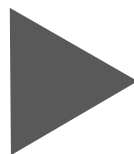
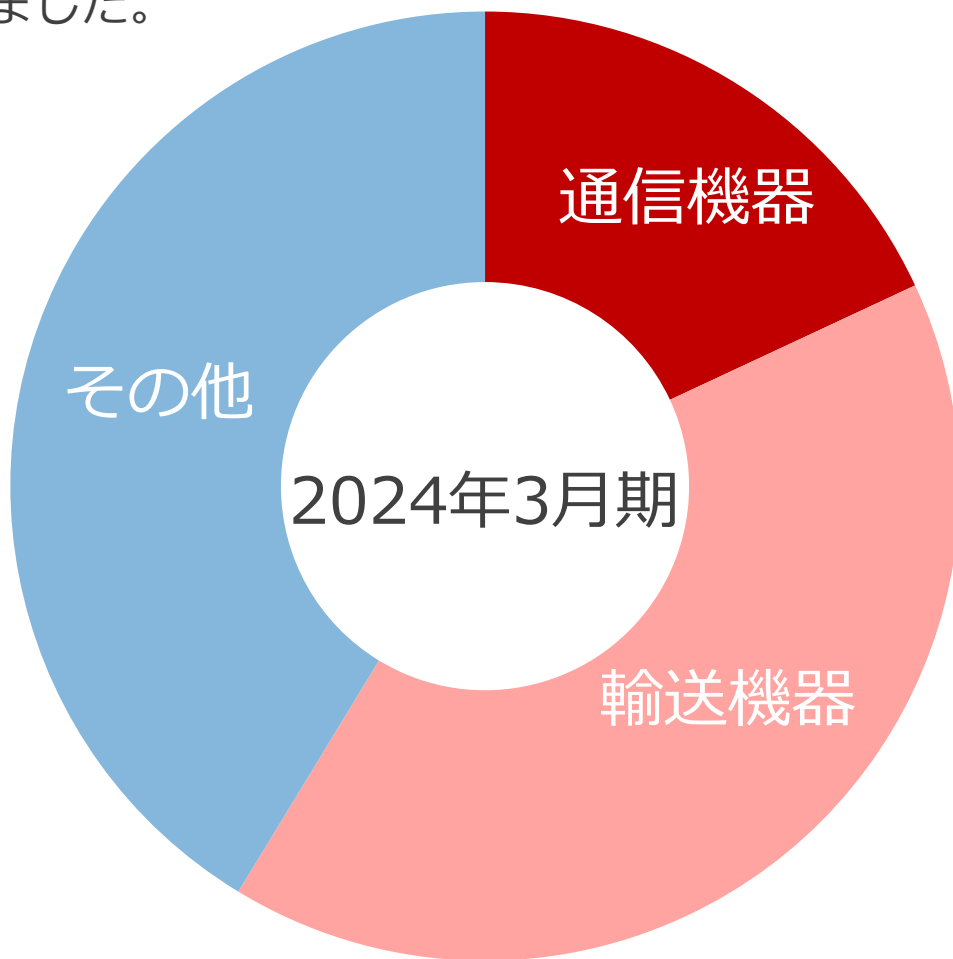
単位：百万円

	2024年3月期	構成比	2025年3月期	構成比	増減	増減率(%)
フィルム事業	616	100.0%	862	100.0%	246	40.0%
通信機器	111	18.0%	159	18.5%	48	43.9%
輸送機器	250	40.6%	279	32.4%	28	11.5%
その他	254	41.4%	423	49.1%	168	66.2%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【アメリカ】売上構成

- ディスプレイ保護向けハードコートフィルム、輸送機器向け拡散フィルムの販売が堅調により売上に貢献しました。



【スイス】 売上構成

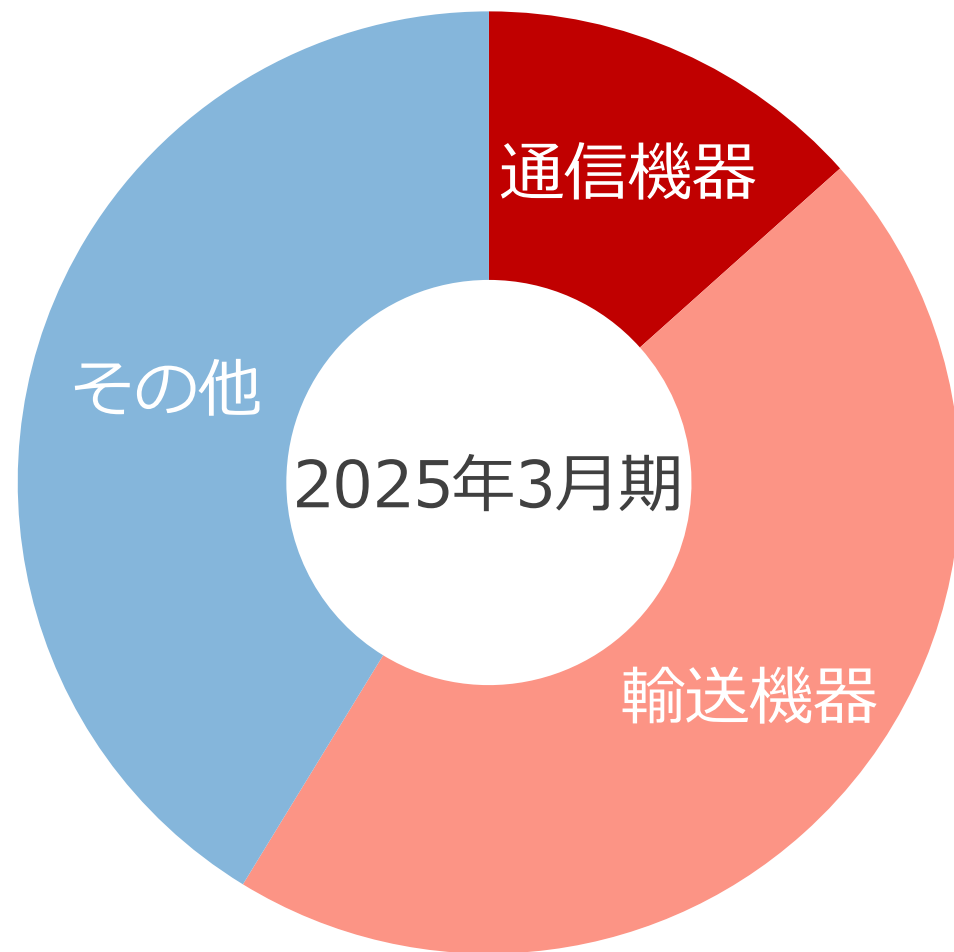
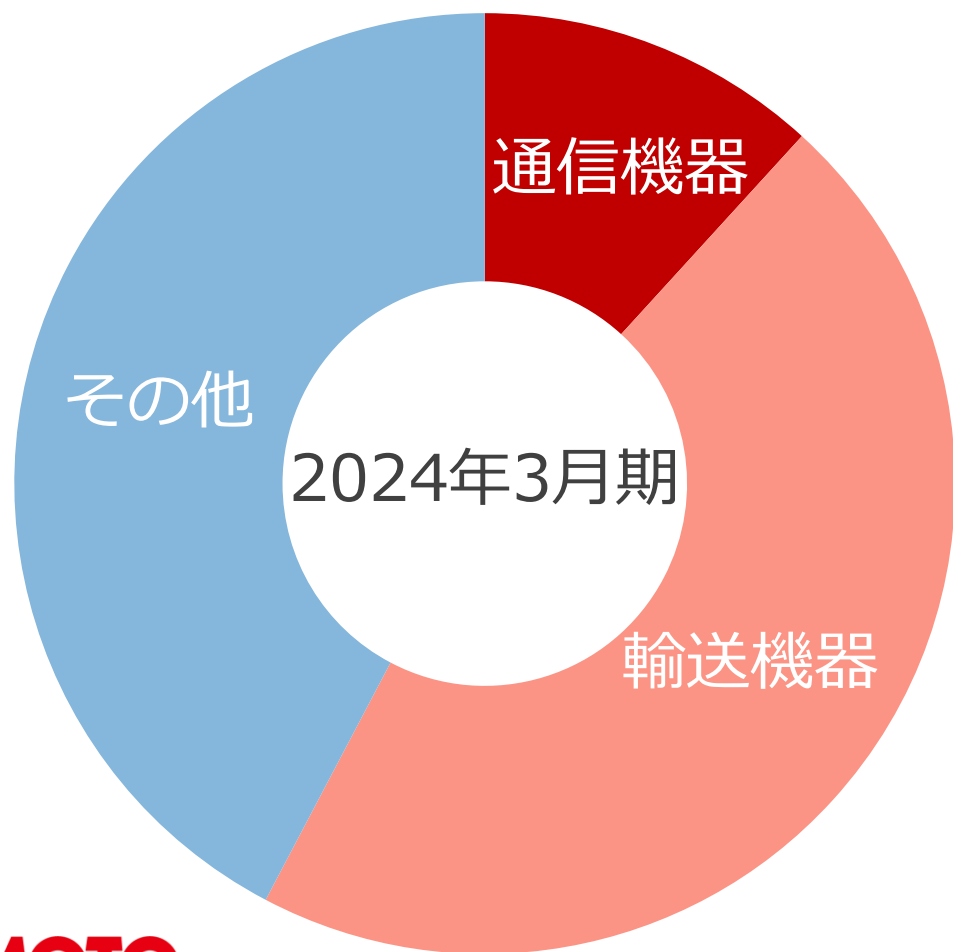
単位：百万円

	2024年3月期	構成比	2025年3月期	構成比	増減	増減率(%)
フィルム事業	603	100.0%	733	100.0%	129	21.5%
通信機器	71	11.8%	98	13.4%	27	38.6%
輸送機器	277	45.9%	332	45.3%	55	19.9%
その他	255	42.3%	302	41.2%	46	18.4%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【スイス】売上構成

- 欧州での経済停滞の中でも、輸送機器向け案件は計画通り進行し、家電や照明向け製品も堅調に推移し、売上、利益ともに貢献しました。



【中国】 売上構成

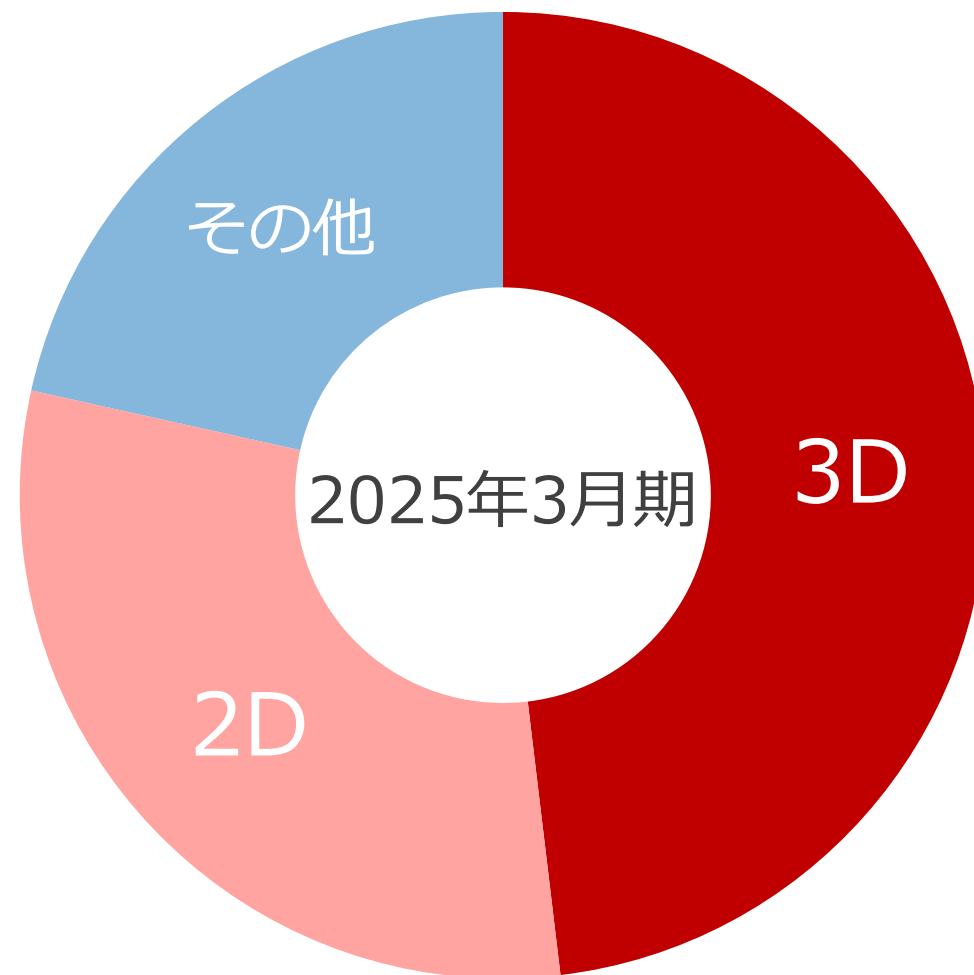
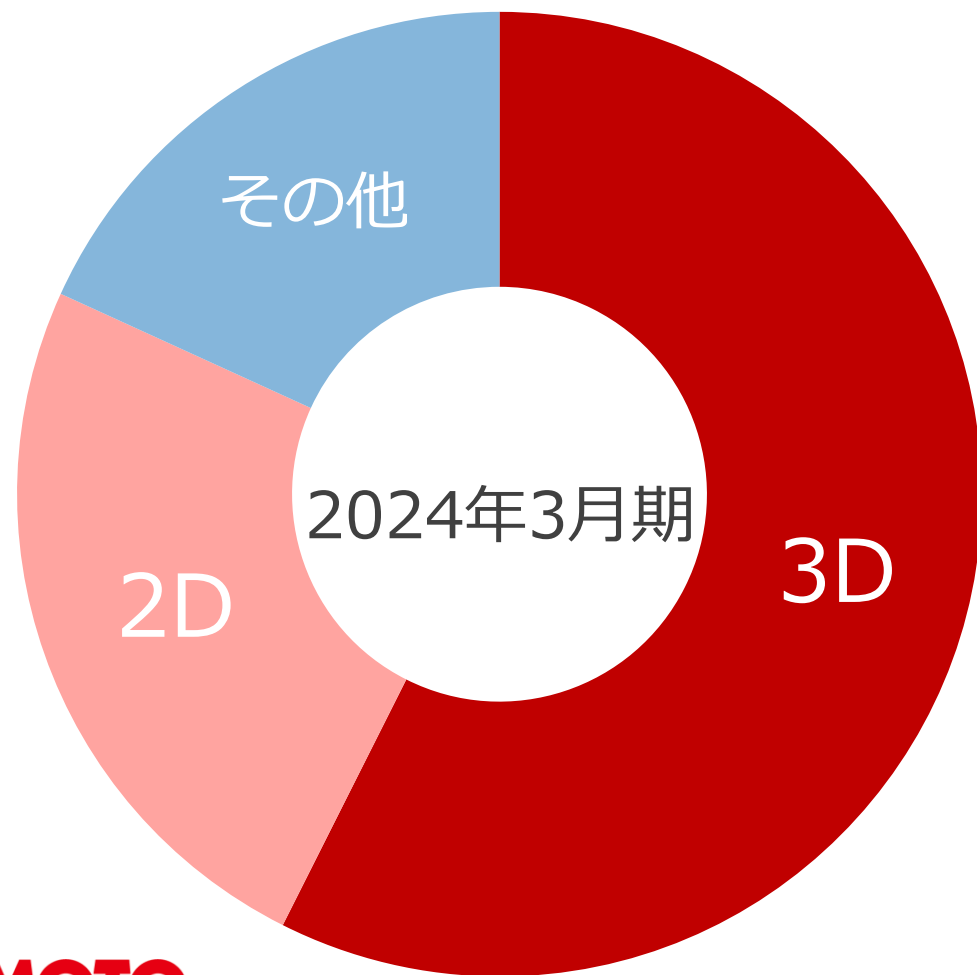
単位：百万円

	2024年3月期	構成比	2025年3月期	構成比	増減	増減率(%)
デジタルツイン事業	210	100.0%	160	100.0%	△50	△23.8%
3D	120	57.4%	76	48.1%	△43	△36.2%
2D	51	24.3%	48	30.3%	△2	△4.9%
その他	38	18.3%	34	21.6%	△3	△10.1%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【中国】売上構成

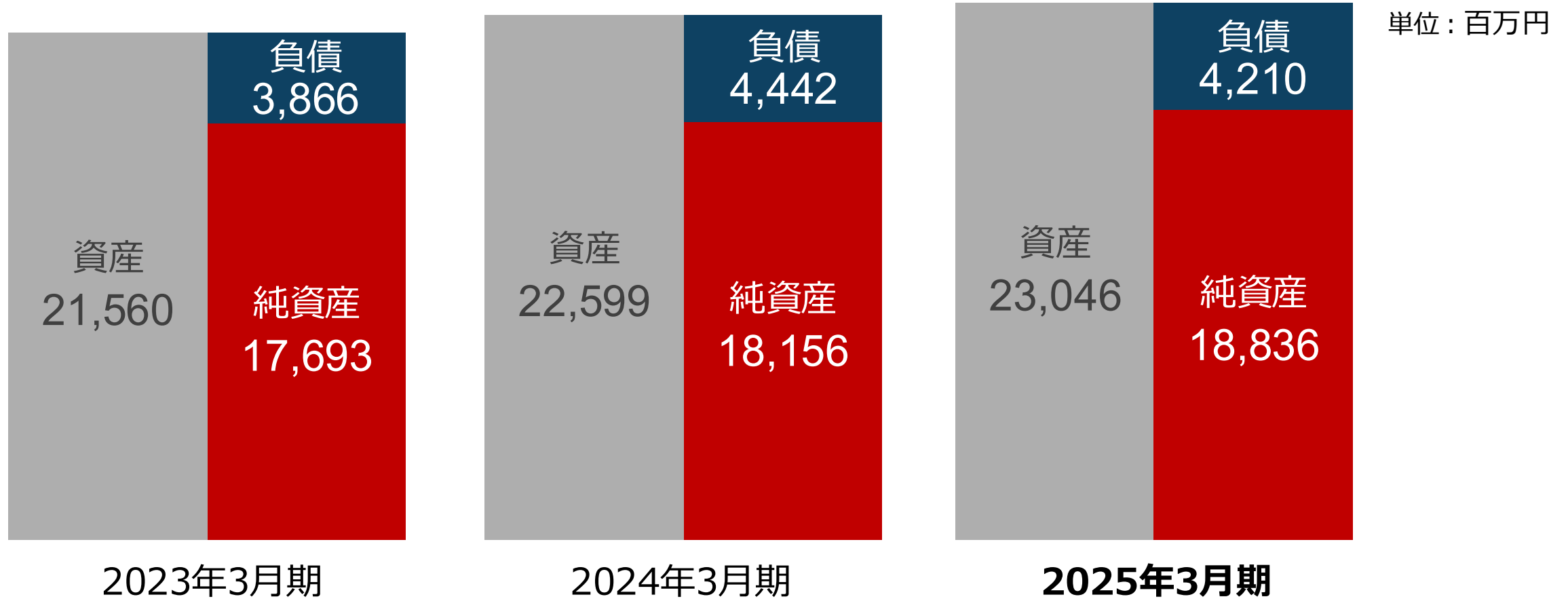
- LiDAR関連の大型案件が少なく売上、利益ともに低調となりましたが、製造業DX向けのデータ作成、プログラム開発案件を受注しています。



2025年3月期決算について

貸借対照表〔連結〕

2023年3月期～2025年3月期 比較



2025年 3 月期貸借対照表〔連結〕 主な変動要因

単位：百万円

資産

対前期末比

447

長期預金

1,154

受取手形及び売掛金

▲391

現金及び預金

▲284

負債

対前期末比

▲232

未払法人税等

255

退職給付に係る負債

▲309

純資産

対前期末比

679

利益剰余金

713

自己株式の取得

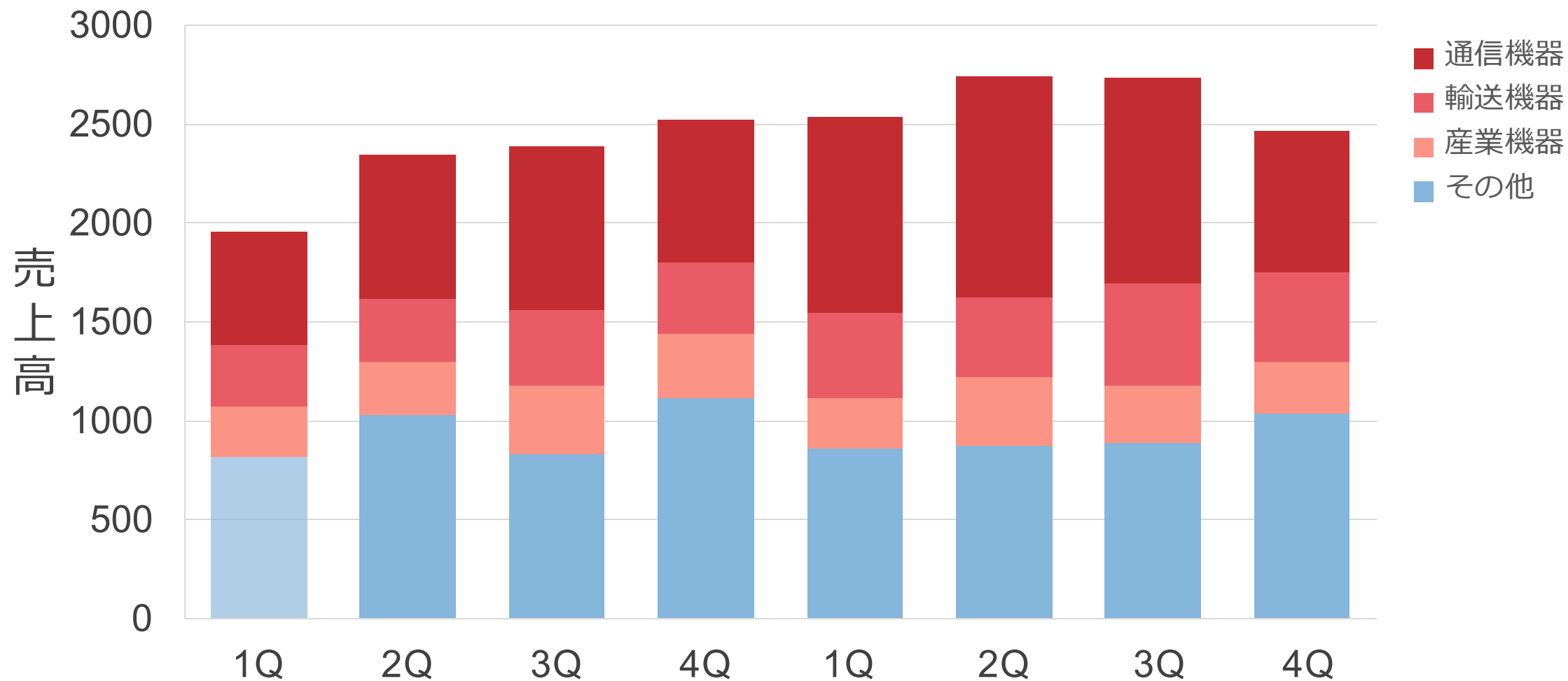
▲297

- 1 2025年3月期決算について
- 2 フィルム事業**
- 3 デジタルツイン事業
- 4 KIMOTOの事業について

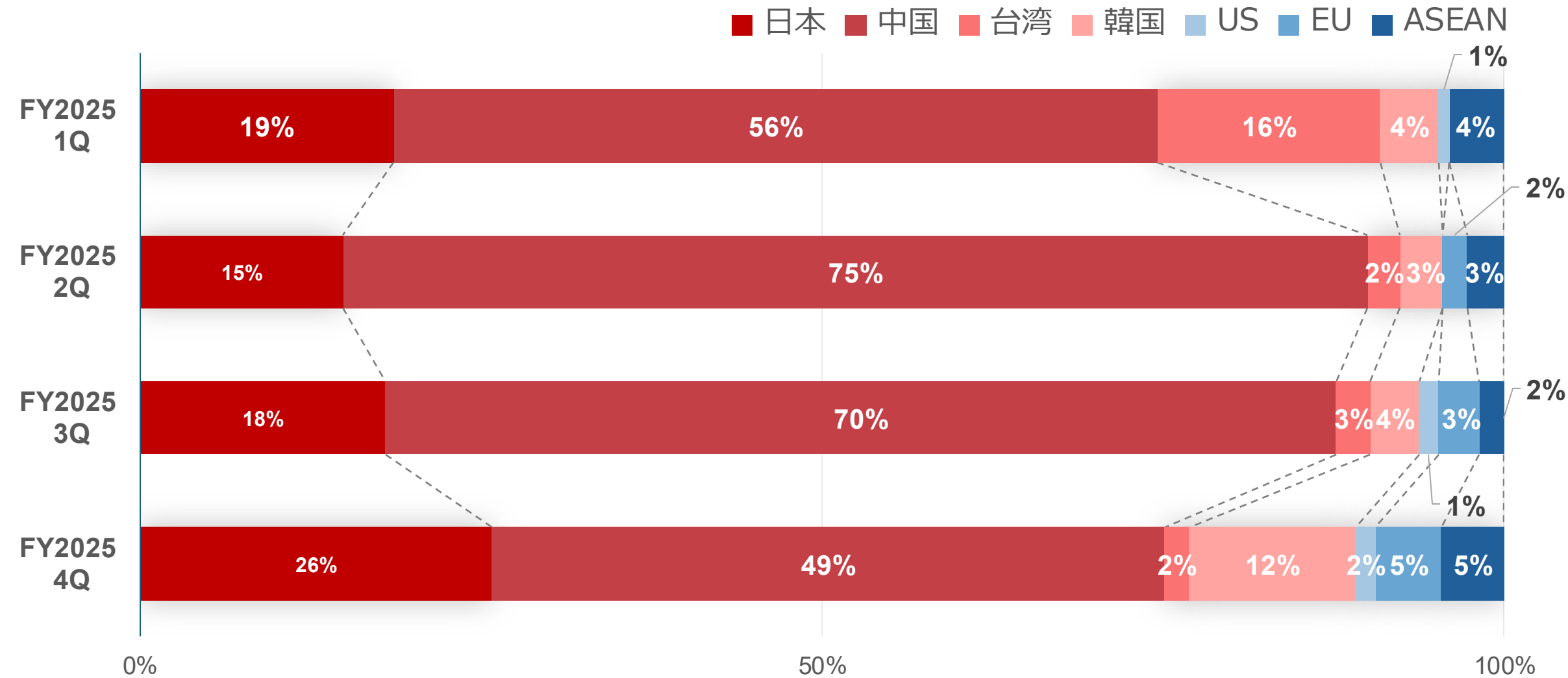


【日本】売上推移（四半期）

単位：百万円

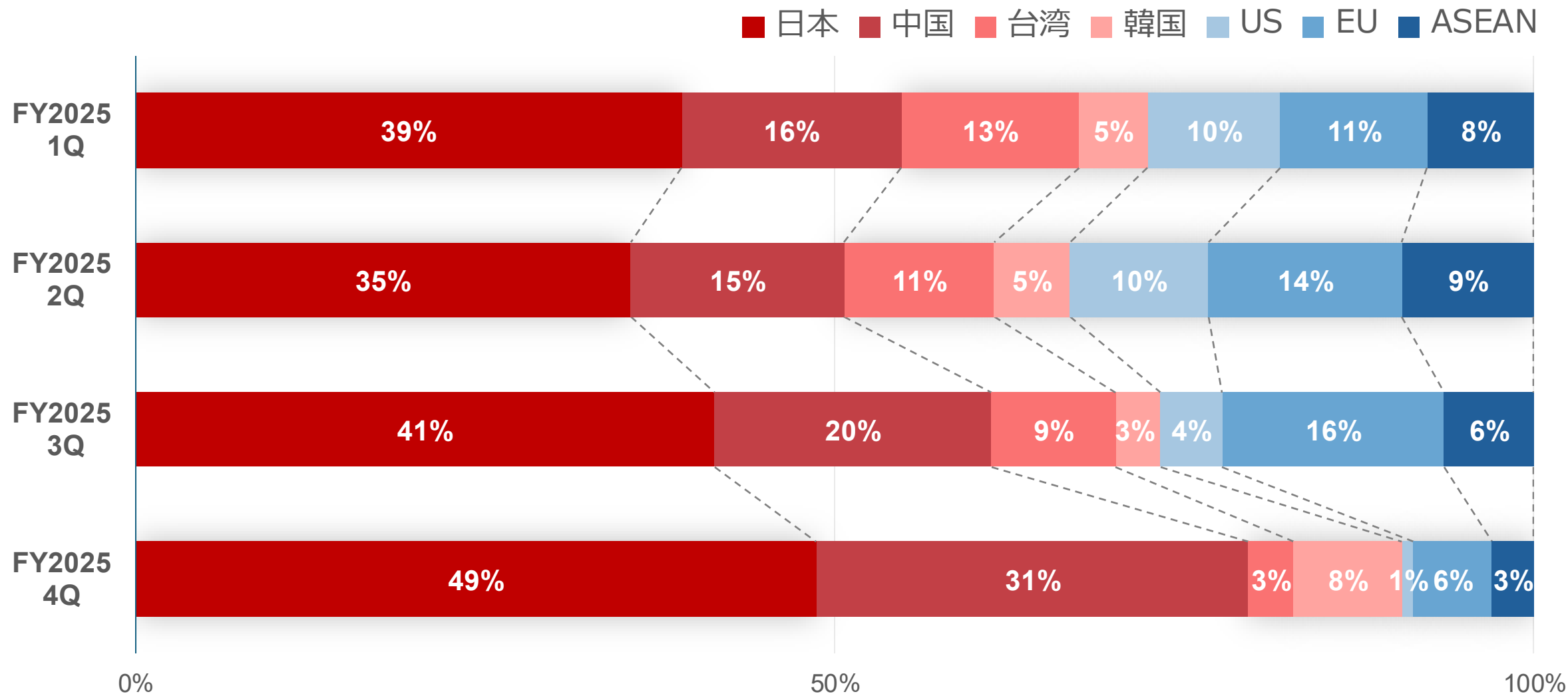


【日本】 通信機器 エリア別 主要製品 売上構成※



※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート

【日本】 輸送機器 エリア別 主要製品 売上構成※

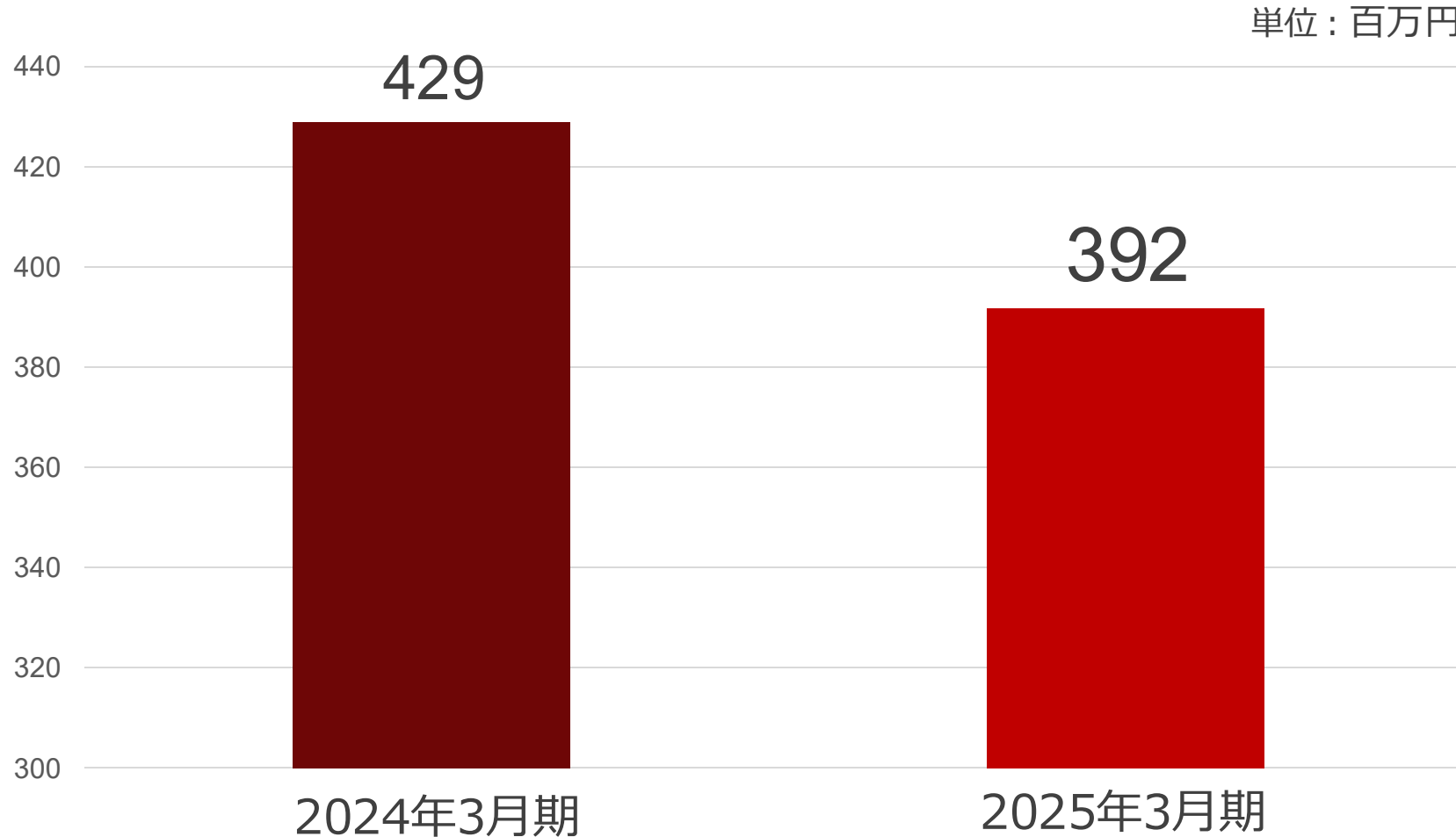


- 1 2025年3月期決算について
- 2 フィルム事業
- 3 デジタルツイン事業**
- 4 KIMOTOの事業について



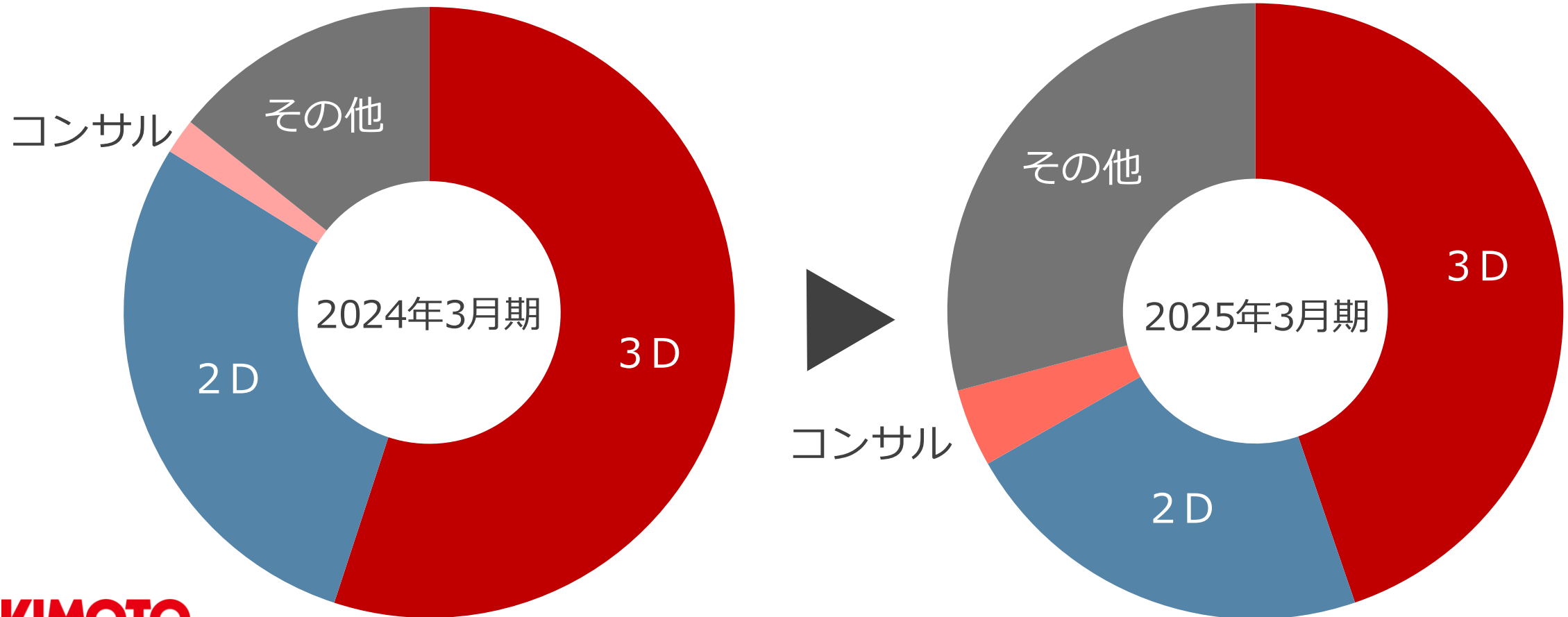
【日本】デジタルツイン事業売上高

- 点群データからの図面作成を行う新規案件を獲得したものの、3D関連において、3Dモデル作成作業、LiDARの案件が顧客の内製化により減少傾向となっております。



【日本】デジタルツイン事業売上高構成

- 3Dモデル関連の案件獲得に向けた活動を行ってきましたが、結果として前年比では減少となりました。
一方、コンサルティング案件は新規案件や継続契約の受注を獲得し、順調に進捗しています。



- 1 2025年3月期決算について
- 2 フィルム事業
- 3 デジタルツイン事業
- 4 会社概要**



会社概要

会社概要

社名	株式会社 きもと （英語表記：Kimoto Co., Ltd.）
創立	1952年7月2日
代表者	代表取締役社長 小林 正一
所在地	〒511-0411 三重県いなべ市北勢町京ヶ野新田450
資本金	32億7,421万円
従業員数	連結：460名／単体：383名（2024年3月末日現在）
売上高	連結112億円（2025年3月期）
上場市場	東証スタンダード市場（証券コード：7908）



創業当時
航空写真現像・図面複製業務の様子

創業社長
木本 氏仁

おかげさまで
数々の賞と選定を
いただいております



令和5年度 Nextなでしこ
共働き・共育て支援企業
（経済産業省選定）



日経サステナブル総合調査
スマートワーク経営編 3.5星
（日本経済新聞社）



日経サステナブル総合調査に
基づくスマートワーク経営に
優れた企業として選出
（日本経済新聞社）

- 建設事業関係功労者等
国土交通大臣表彰
- 日本国土調査測量協会より
国土交通大臣表彰を受賞

沿革

KIMOTO

1952



- 湿度伸縮や経年劣化に強い「AKケント紙」を販売
- 「有限会社きもと商会」創立

1955



- 茨城県総和町（現：古河市）に茨城工場建設
- 1967 「株式会社きもと」に商号変更
- 1969 スイスに販売会社「KIMOTO AG」設立
- 1974 三重県員弁郡北勢町（現：いなべ市）に三重工場建設

2006



2009

- 東京証券取引所第一部指定

- 1985 アメリカに製造工場「KIMOTO TECH,INC.」設立
- 1979 中国に「瀋陽木本データ有限公司」設立（現・データセンター）

2011



2024



- 2013 本店移転（埼玉県さいたま市）
三重県いなべ市で地域貢献の一環として
「きもとファーム」プロジェクトをスタート
- 2017 アメリカと日本に少量塗工機を新設
- 2021 株主総会早期化
- 2024 技術開発を三重工場へ移管

- 本店移転（三重県いなべ市）

国内・海外拠点



- 国内主要拠点
- 海外主要拠点
- リモート拠点

海外 Overseas

アメリカ／ジョージア州



コーティングマシン「Line2」

塗工幅	MAX 1,550mm
塗膜厚み	MAX 100μm
塗工	ダイ、グラビア、バー

少量塗工機「LC3」

塗工幅	MAX 770mm
基材	PET、アクリル、TAC、PC
塗工	ダイ、グラビア、バー

国内 Japan

三重県／三重工場



コーティングマシン

塗工幅	MAX 1,600mm
塗膜厚み	0.5μm～40μm
Clean Class	
作業エリア	Class 1,000 / コーティング
マシンエリア	Class 1,000 /
コーティングヘッド	Class 100

茨城県／茨城工場



サンドブラストマシン

加工幅	MAX 1,300mm
加工厚み	25μm～350μm
加工粗さ	0.3μm～0.8μm

少量塗工機「APOLO」

塗工幅	MAX 300mm
基材	PET、アクリル、TAC、PC
塗工	ダイ、グラビア、バー

中国／瀋陽



データセンター

BIM/CIMデータ作成
3Dデータ作成
製造業DX向けデータ作成
アプリケーション開発

事業内容



機能性フィルム開発・製造
高機能性液開発・製造

高機能材料 事業

High performance
materials



働き方改革
製造業DX

コンサルティング 事業

DX consultant

デジタルツイン 事業

Digital twin



BIM／CIMデータ
アプリケーション開発



地域活性活動
米栽培
ダリア園運営

ファーム 事業

Kimoto Farm

KIMOTO

Building
a New Era
of Value



KIMOTO

人と未来を守る環境フレンドリーな企業へ

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものであります。
実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果となる可能性があります。